

「しんがた コロナウイルス」の ワクチンについて：ていがくねんよう低学年用

【コロナウイルスに かかると どうなるの】

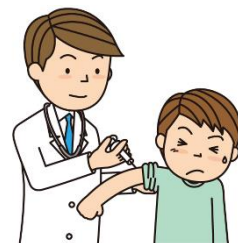
「かぜ」にかかります。「おなか」のちょうしがわるくなったり、「あじ」や「におい」がかんじにくくなることもあります。
せきがでてぐあいがわるくなるひともいます。

【ワクチンはなにが いいの】

「ファイザーの ワクチン」をうちます。
ワクチンをうつことで、コロナウイルスに「ていこうする ちから」がつよくなります。ウイルスが からだに入っても、からだのちょうしがわるくなくなりにくくなります。
でも、ワクチンでぐあいがわるくなることや、ワクチンをうつことができないひともいるので、おとなと「そうだん」して きめましょう。

【どうやって うつの？】

「うで」のつけねにおちゅうしゃをします。
1かいめ から 3しゅうかん たったら、2かいめをします。
2かいめ から 5かげつ たったら、3かいめをします。



【ワクチンのときに きをつけること】

- おちゅうしゃの「いたみ」でぐあいのわるくなるひとがいます。
- ゆっくり「いきをして」きもちがおちついてからおちゅうしゃをしましょう。
- おちゅうしゃのあとは、15～30ぷんはしずかにやすんでください。
- ちょうしがおかしい、むねがいたい・くるしい、いきができない、ふらふらするときは、ちかくのおとなにすぐおしえましょう。

【まもってほしい、たいせつなこと】

ワクチンをうっている、うっていないというりゆうで、まわりのひとをわるくいたり、いじめたりすることは、ぜったいにあってはなりません。

いわていかだいがくふぞくびょういん しょうにか わくちんかかり
いわてけんいしかい
いわてけんわてけん